

地域課題を解決する「芽」を見つけ出すために 企業フィールドスタディ報告会

前橋市立前橋高等学校

めぶく

地域活性化プロジェクト




探究通信
めぶく第9号
R4.2.7

企業訪問の成果をまとめ上げる

1月20日(木)に本校×インナーナにて「市内企業フィールドスタディ報告会」を行った。これは11月に行った企業訪問(1年生が49班に分かれ、市内の31社にそれぞれ赴き、企業の特性や強み、地域とのつながりについてインタビューをしていくもの)のまとめの活動として実施するものである。また、今年度は9月に実施した「まちなかりサーチ」(前橋中心商店街



最優秀賞を獲得した「株式会社ボルトン」大淵聖也君(富士見中出身)

やる気の木プロジェクト×地域活性化プロジェクト「めぶく」

1月21日(金)に共愛学園前橋国際大学にて「高校生×大学生 Regional Activities Project 活動成果報告会」が行われ、2年生3名と1年生3名が参加した。

本校の代表として、廣澤希々香さん・櫻井心叶彩さん・三森幹太君が発表を行った。廣澤さんと櫻井さんは、発表の中で「けやき祭」や「前橋市高校生模擬議会」などの学校行事にも触れ、本校の探究学習の取り組みの紹介をする形となった。前号(探究通信「めぶく」8号)でも紹介したように、「地域探究プログラム」全国ステージに出場を決めている三森君は、



地方ステージで行った発表よりも多量の自作動画を紹介するなど、パワーアップした発表を行った。それぞれが提案にとどまることなく、「実践」を伴った活動であるということもあり、大学生やゲストの方々から高評価をいただいた。当日の様子は上毛新聞、群馬テレビで紹介された(→)。



から前橋駅北口を6つの視点を持ちつつ、実際に歩き、店主に話を伺う活動)を通して発見した魅力と地域課題に関して発表に盛り込

んだ。つまり、「訪問して知った企業の強みを活かして地域の課題を解決するために」という視点を持つて(インタビュと)プレゼ

ンテーションを行ったというのである。11月から生徒たちは1人1台のクロムブックを活用しつつ、班で協力しながら



発表資料を練り上げてきた。事前にプレゼンテーションについての講演会を実施したこともあり、生徒たちは見ている人に伝わりやすいスライド作りや発表を心がけることができた。

報告当日には、お世話になった企業の方々や「まちなかりサーチ」実施にあたってご協力をいただいた、前橋中央通り商店街振興組合理事長やまちなかで活躍する前橋デザインコミッションの企画局長、さらに本校の探究学習でお世話になっている前橋国際大学や高崎商科大学の先生方にもお越しいただいた。

来場者の方々には発表に際しての質問をしていただくとともに、発表の審査をしていただいた。平均得点が一番高かった「株式会社ボルトン」の発表をした大淵聖也君が最優秀賞を受賞したほか、次点の「富士スバル株式会社」の田中碧生君・小林優斗君・飯塚愛菜さん・鈴木優良さん・福田聖奈さんと「富士油圧精機株式会社」の竹淵愛優さん・石井竜雅君がそれぞれ優秀賞を受賞した。上毛新聞、群馬テレビで当日の様子が生徒のコメントとともに紹介された(下ページ)。

